



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	公開授業記録（英語科）（個人研究）（fulltext）
Author(s)	山城,仁
Citation	研究紀要：東京学芸大学附属世田谷中学校研究年報, 2016: 196-198
Issue Date	2017-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/148615">http://hdl.handle.net/2309/148615</a>
Publisher	東京学芸大学附属世田谷中学校
Rights	

## LESSON PLAN

Instructor: YAMASHIRO Hitoshi

I Date: February 15, 2017

II Class: 1-B (21 boys & 19 girls)

III Textbook: New Crown English Series 1 Lesson 9: Four Seasons

### IV Aims of This Lesson

- 1 To help the students learn the usage of the following grammar points:
  - (1) Amy played basketball last Sunday.
  - (2) Did Amy play basketball last Sunday?  
Yes, she did. / No, she did not (didn't).
  - (3) Amy did not play basketball last Sunday.
  - (4) Amy went to Hiroshima last Sunday.
- 2 To help the students understand the content of the textbook.
- 3 To give the students chances to deepen their ability to use the expressions along with the contents and their own ideas about the topic.

### V Allotment: 1st period ---- Get PART1 (pp.112)

2nd period ---- Get PART1 (pp.112-113)

3rd period ---- Get PART2 (pp.114)

4th period ---- Get PART2 (pp.114-115)

5th period ---- Use READ (pp.116-117) (this period)

6th period ---- Use READ (pp.116-117)

7th period ---- 文法のまとめ (pp.120), 表現のまとめ

### VI Aims of This Period

- 1 To give the students chances to read comparatively long texts in a few minutes after listening to the oral introduction on the topic.
- 2 To give the students chances to listen and read sentences using past tense.
- 3 To give the students chances to express their own experiences and practice using the past tense in a natural context.

### VII Teaching Aids

iPad, projector, prompters

### VIII Teaching Procedure

- 1 Opening address
  - 1) Greetings

- 2) Criss-Cross
- 3) Recollection
  
- 2 Skit making on the topic
  - 1) Making in pairs
  - 2) Sharing and giving (corrective) feedback
  
- 3 Predicting about the content of the text and words
  - 1) Check the meanings of the words
  - 2) Predict the content
  
- 4 Reading
  - 1) Silent reading
  - 2) Check of understanding of the content
  
- 5 Reading aloud
  - 1) Pronunciation of the new words
  - 2) Chorus reading after the teacher
  - 3) Buzz reading
  - 4) Individual reading
  
- 6 Small output
  - 1) Answering the questions about their experiences
  - 2) Interacting in pairs, class
  - 3) Sharing
  
- 7 Closing address

### References

- Grabe, W. (2009). Reading in a second language: Moving from theory to practice. New York: Cambridge University Press.
- Lee, J. F., & VanPatten, B. (1995). Making communicative language teaching happen. New York: McGraw-Hill.
- Shintani, N. (2015). The effectiveness of processing instruction and production-based instruction on L2 grammar acquisition: A meta analysis. *Applied Linguistics*, 36(3), 306-325.
- VanPatten, B. (2002). Processing instruction: An update. *Language Learning*, 52(4), 755-803.

## 研究授業の視点

### 「教科書本文をより深く理解させるための Reading 指導」 (1年生)

授業者 山城 仁

#### 1. 本授業のねらい

Reading、つまりは「読むこと」では生徒に何を指導する必要があるのかを改めて検討したい。中学校学習指導要領外国語編には「読むこと」について以下の事項を指導するよう明記されている。

- (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。
- (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。
- (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
- (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。
- (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

これらのことから「読むこと」の指導では、ただ単に訳を作り上げ、それらをつなぎ合わせるだけでは十分ではないことが明らかである。教科書本文に書かれている内容を適切に読み取らせ、それらを基に「書くこと」や「話すこと」につなげていく指導のあり方を検討する必要がある。本単元では「書くこと」「話すこと」につながる「読むこと」を重視した指導の具体案について実践する。

「読むこと」において「書くこと」「話すこと」へとつなげていくための手立てとして考えられるのは教科書で扱われている英文が表す題材内容や形式についての理解を深めることである。つまりは、題材内容についての質問に英語で応える、題材内容について簡単な英語で表現する、行間を読み取り、書かれていない情報を推測することなどである。わからない箇所について何度も題材内容を読み返すことで、その事実をはじめ、書き手の気持ちや心情についての理解が深められると考える。

また、「読むこと」の一過程としては、文法事項に対する理解もあげられる。文法事項について理解を深めることは、言語形式(構造)と意味がわかることに加え、どのように使用するのがわかり、実際に活用することを指す。英語初学者である中学生が無理なく文法事項を理解し、活用することができる手立てを検討し実践する。本時の授業のねらいは、以下の通りである。

- (1) 比較的長い英文を読むことを通して題材内容について理解を深めさせる。
- (2) 過去形の表現を用いた英文を聞いたり、読んだりすることを通して文構造やその意味内容を正しく理解させる。
- (3) 過去形の正しい形式を用いて、題材内容について問答したり、自分の考えを述べたりすることができるようにする。

#### 2. 本授業の構成

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>①学んだ英文・形式を思い出しながら発話する活動</li><li>②教師の英語、教科書の英文を通して、題材や文法事項に触れ、英文の意味を理解する活動</li><li>③教師のモデル文や教科書の英文などを参考にしながら、伝えたいことを表現する活動</li></ul> |
|---|

本時の授業は、大きく次のような構成である。

#### 3. 授業クラスの様子

教師の指示や発問に対して前向きな受け答えをすることができ、活動にも非常に意欲的に取り組むことができる。意見を求めると、自分の考えを適切に表現することができる生徒が多く、自発的に考えたり、行動したりすることができる。一方で、私語が多く、指示を聞く姿勢が十分でないことから今すべきことをうまく捉えきれず注意を受けることが多々ある。